

ようやくコロナ禍も落ち着き、医学部図書館前で恒例のBBQを開催することができました。その間、留学生も増え、各国の料理が並ぶ4年ぶりのBBQを大いに満喫しました。今年も教室メンバーからお便りが届いています。是非ご覧ください。

田中真樹（教授）

コロナ禍も過去のものとなり、今年は出張なども多い忙しい一年となりました。これまで2期10年にわたって運営に参画してきた新学術領域が3月で終了し、研究費の獲得に奔走していましたが、運よくJST-CRESTに採用していただくことができました。これを後ろ盾に今後も小脳、大脳基底核、大脳連合野の研究をバランスよく進め、教室のテーマである大脳皮質―皮質下ループの機能解明にむけて研究を発展させていきたいと思います。また、今年はセンター長を務めている北大脳科学研究教育センターが設立20周年を迎え、秋には記念シンポジウムなども開催します。今年から私の教授任期も後半となり、研究者として残された時間を有意義に過ごしたいと考えています。

教室内でもいろいろと動きがありました。昨年の11月からバングラデッシュ出身のスルタナ・フェルドス院生が神経生物学教室から移籍となり、3月にはこれまで教室に出入りしていた土田君が無事に国試に合格して市中病院の研修医となりました。4月には中国から金沢滔君が研究生として、9月からは半田さんが事務補助員として新たに加わりました。これまで長年にわたって教室運営のサポートをしてくださった事務補助員の鈴木さんは9月末で任期を迎え、しばらくお休みとなります。今年は亀田助教がPNASに論文を発表し、皆で広島、京都、仙台、米国などの学会に参加して成果発表を行い、教室員がいくつか学会賞を受賞し、久しぶりに教室でジンパをし、有志で川釣りに行きました。これからの一年もまた楽しいことが沢山あることでしょう。私生活で大きなことといえば、年末に娘が結婚することになりました。

岡田研一（助教）

アンパンマンやトーマスが好きだった娘が、いかにしてプリキュアやディズニープリンセスに興味を持ち、おままごとをしたりビーズでアクセサリーを作ったりするようになったのか、そんな謎と向き合う日々です。

亀田将史（助教）

デスクに飾りはじめた観葉植物（名前忘れた）の成長速度に驚きましたが、それに負けないよう日々研究に打ち込んでいます。たまに息抜きにキャンプに行きます。

澤頭 亮（特任助教）

今年の夏は、亀田さん、安部くん、我が家の子供達を引き連れ、北大植物園に赴き、「第一回神経生理学教室写生会」を開催しました。良いリフレッシュになりました。

鈴木真理（秘書）

コロナがようやく収束に向かい、数年ぶりに埼玉の実家の母が来札しました。
小樽鯨御殿、支笏湖、石狩浜、定山溪、北海道神宮。近場でも見どころにあふれ、
あらためて北海道の魅力を実感しました。三十度以上の猛暑が続きましたが、庭の雑草もきれいに
抜いてくれ、母親のありがたさを実感する夏休みになりました。

半田知代（秘書）

9月から事務補助員を担当しております。
温かく親切な教室の皆様のご指導のもと、日々学ばせていただいております。
少しでも皆様のお役に立てればと思います。

坪田桃花（技術補助員）

今年はセミを一回も見かけませんでした。

新川幸一郎（D4）

気が付けばラボ内でもかなりの古株になっていました。なかなか思うようにはいかない日々ですが、
優秀な後輩たちに抜かされないよう、少しずつでも卒業目指して頑張っていければと思っています。
30歳を間近にして体力の低下も感じており、今年はランニングマシンを買いました。健康に気を
付けていきたいです。

Li Li（D4）

I wish my birds good health and longevity.

Sultana Ferdous（D4）

I am delighted to introduce myself as an enthusiastic graduate student in the
Department of Systems Neuroscience at Hokkaido University. My journey as a graduate
student has been nothing short of exhilarating, as it has provided me with remarkable
opportunities to delve into the world of neuroscience research in a highly promising
academic environment. One of the most gratifying aspects of my graduate studies here
is the unparalleled access to cutting-edge resources, which has enabled me to pursue
challenging research endeavors.

金 泽滔（研究生）

日本の最初の一年、日本語を勉強します。
研究室の最初の一年、研究も勉強します。
日本語と研究は難しいけども、面白いです。

安部 楓（4 年）

沈着の刹那 既に常に 遅延して
否むことで その都度 直証さる
帰り亦潜む その反復 是虚空也

杉尾 凌虎（4 年）

脳波についての実験をしています。これからも粘り強く頑張ります。

渡辺 翠（3 年）

医学部医学科 3 年渡辺翠です。前の大学でも認知行動科学を学んでいたため、興味があつて論文セミナーに参加させていただいております。よろしくお願いいたします。